

# 第11回 第二言語習得研究会 全国大会

開催日：2000年12月16日・17日

場所：お茶の水女子大学共通講義棟2号館201教室

## 第1日

12月16日(土) 共通講義棟2号館201教室

13:00 受付

13:30 開会の辞 カッケンブッシュ寛子  
(名古屋外国語大学・第二言語習得研究会会長)

13:40 パネルディスカッション

教室志向の第二言語習得研究：言語形式の焦点化 (Focus on Form)

司会： 小柳かおる (上智大学) ..... 6

発表者： 村野井仁 (東北学院大学)  
インタラクション補強法と要約法による言語  
形式の焦点化 ..... 8

諸石万里子 (パデュー大学)  
言語形式の焦点化の明示生：明示的文法説明  
とインプット強化の効果 .....16

和泉伸一 (上智大学)  
Promoting Noticing and SLA: An Empirical Study  
of the Effects of Output and Input Enhancement on  
ESL Relativization .....24

長友和彦 (お茶の水女子大学)  
日本語の自然習得と Focus on Form .....31

小柳かおる (上智大学)  
日本語教育における研究アジェンダと教育上  
の実践 .....34

16:10 休憩

## 研究発表

- 16:25 坂本勝信 (南山大学大学院)  
フィードバックの効果を探る－存在の場所を示す助詞「に」、動作の場所を示す助詞「で」について－ 41
- 16:55 斎藤浩美・菅谷奈津恵・森塚千絵 (お茶の水女子大学大学院)  
日本語学習者の言語習得に果たす自己訂正と教師介入の役割 49
- 17:25 事務局からの連絡、その他
- 17:40 懇親会 (お茶の水女子大学生協食堂「マルシェ」)

---

## 第 2 日

12月17日(日) 共通講義棟2号館201教室

---

- 10:00 特別講演  
Peter Robinson (青山学院大学) .....57  
The Cognition Hypothesis of Task-based Language  
Development and Its Implications for Syllabus Design
- 研究発表
- 11:00 岩崎順子 (Edith Cowan University)  
The Acquisition of Relative Clauses (sentential modifiers) in Japanese as a Second Language (JSL) by a Young Child .....60
- 休憩 (昼食)
- 13:00 生田裕子 (名古屋大学大学院)  
ブラジル人生徒の作文における文の複雑さについて .....68
- 13:30 許夏珮 (お茶の水女子大学大学院)  
日本語学習者によるテンス・アスペクトの習得に関する研究－個別生と普遍性－ .....76

## 特別研究発表

- 14:00 森山新（世宗大学）  
認知的観点から見た第二言語習得過程に関する実験的……………84  
研究
- 14:30 休憩
- 14:50 佐々木嘉則（ニューサウスウェールズ大学）  
日本語自己評価質問紙の信頼性と妥当性：……………90  
「自分のことは自分でよくわかっている」か？
- 15:20 白井恭弘（コーネル大学）  
The Aspect Hypothesis in SLA and the Acquisition of……………101  
Japanese
- 15:50 閉会の辞  
鎌田修（京都外国語大学・第二言語習得研究会〈関西〉代表）
- 16:00 総会

### 【お詫び】

Peter Robinson 先生のご都合により、プログラムが一部変更になりました。  
関係者および参加者のみなさまにご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。